

# UMRCのイラク・ウラニウム被害調査カンパのお願い



米英軍によるイラクでの劣化ウラン弾使用とその被害に心を痛めている皆さん。被害の実態と米の責任を明らかにするために、カナダのNGOウラニウム医療研究センターUMRCが開始したイラクでの劣化ウラン/ウラニウム被害調査の調査費用支援カンパにぜひご協力ください。

**世**界中の平和運動や市民の反対にもかかわらず、米英軍はイラクに戦争をしかけました。その結果、国土と水道・電気などインフラは徹底的に破壊され8000人も市民、数万人の兵士の生命が奪われました。湾岸戦争で劣化ウラン弾の攻撃を受けた南部イラクの人々、特に子ども達の間でガン、白血病が急増しています。イラク人医師達はこの非人道的、残虐な戦争犯罪を繰り返し告発しています。しかし、今回の戦争で米英軍は何の反省もなく再び劣化ウラン弾、あるいはウラニウム爆弾を大量に使ったのです。その量は、湾岸戦争時に数倍する500トン、あるいは1000トン以上とも言われています。

**米**軍の使用するウラニウム爆弾の被害はすでに明らかです。アフガニスタンでUMRCが行った環境と人体のウラニウム汚染調査は、カブールやトラボラ、ジャララバードなど米軍の爆撃を受けた各地で人間の尿から通常の200倍以上にも達する高濃度のウラニウムを検出し、汚染を明らかにしました。爆撃クレーターの土、周辺の水田などの水からもウラニウムが検出されました。バンカーバスターなど貫通型爆弾に米軍がウラニウムを使っていること、それによってアフガニスタンが重大な汚染に直面していることは明かです。

**米**英軍のイラク戦争が与えた被害の全容調査が緊急に要請されています。何よりも劣化ウラン弾/ウラニウム爆弾使用による汚染の被害、特に人体のウラニウム汚染を調査し、住民の急性症状の有無などの調査が必要です。その上で劣化ウラン使用と多発するガン、白血病などを結びつける証拠を確認することが必要です。これらの被害を米英政府に突きつけなければなりません。

**イ**ラクの被害調査は本来国際的で大規模な調査が必要です。しかし大量の劣化ウランが使われたことは明らかなのに国際機関の調査は何も行われていません。米軍は劣化ウランは健康に影響しないと居直り、米英占領軍が調査を認めないからです。米英の妨害をはねのけ、国連や国際機関にイラクに対する真剣な調査をさせるためには、平和運動や市民運動の国際的な力が必要です。何よりもまず無視できない被害の事実を突きつけることが必要です。すでにヒロシマの「NO DU ヒロシマプロジェクト」の人たちは独自に調査を開始し

## UMRCイラク・ウラン被害調査カンパキャンペーン

連絡先：〒580-0023 大阪府松原市南新町3-3-28 阪南中央病院労働組合気付

アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局

FAX 072-331-1919

HP: <http://jca.apc.org/stopUSwar/>

090-5016-3844 (吉田正弘) e-mail [masayo@silver.ocn.ne.jp](mailto:masayo@silver.ocn.ne.jp)

ました。いくつかのグループが調査し被害を告発することが重要です。とりわけもっとも経験豊かなUMRCの調査は重要だと思います。

**す**でにUMRCはイラクでの調査を始めています。すでに行った予備調査では人体の組織の汚染調査に着手しました。現在イラクに現地調査チームを派遣し、住民からの尿サンプルの収集を行っています。その検査はヨーロッパで行う予定です。その他にも細胞レベル、遺伝子レベルでの分析も計画しています。これらの調査には多額の費用がかかります。UMRCというN-GO組織にとって非常に大きな負担です。UMRCは前回と同様に尿サンプル分析にかかる費用—サンプルあたり700ドル(8万4千円)の寄付で協力を呼びかけています。私たちはアフガニスタン調査と同様にできるだけ多くの皆さんに小口のカンパをお願いし、それを集めてUMRCに送金する形で協力したいと考えています。是非多くの皆さんのご協力をお願いします。

共同呼びかけ人(2003年9月26日現在・五十音順)

青木 茂(阪南中央病院東海臨界被曝事故被害者を支援する会)  
青山有香(フリージャーナリスト)  
安倍陽子  
新井理恵(高校生)  
石川逸子(詩人)  
浮田久子(平和の白いリボン行動・藤沢・代表)  
大河内秀人(特定非営利活動法人「パレスチナ子どものキャンペーン」常務理事・僧侶)  
小川みさ子(鹿児島市議会議員・有事法制を許さない女たちの会がこしま)  
嘉指信雄(「劣化ウラン弾禁止を求めるグローバル・アソシエーション」共同代表)  
川嶋京子(「湾岸戦争の子どもたち」写真展~米国実行委員会)  
きくちゆみ(グローバルピースキャンペーン)  
小林一朗(環境・サイエンスライター)  
小山英之(美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会代表)  
斎藤紀代美(テロ特措法・海外派兵は違憲 市民訴訟の会)  
さとうしゅういち(広島瀬戸内新聞主筆)  
志葉 玲(フリーランスジャーナリスト)  
鈴木かずえ(さいたま市)  
アイリーン・美緒子・スミス(グリーン・アクション代表)  
ジャミーラ・高橋(アラブイスラームの子どもたちを助ける会・代表)  
田中 優(日本国際ボランティアセンター理事)  
土田謙次(埼玉県立養護学校教諭)  
遠野ミドリ(国際井戸端会議)

戸田 清(長崎大学環境科学部助教授)  
豊田直己(写真家)  
野田隆三郎(岡山大学名誉教授)  
広河隆一(フォトジャーナリスト)  
深川博子(平和の白いリボン行動・藤沢・事務局)  
藤岡真里子(看護師)  
星川 淳(作家・翻訳家)  
細井明美(テロ特措法・海外派兵は違憲市民訴訟の会世話人)  
前田 朗(東京造形大学教授・アフガニスタン国際戦犯民衆法廷共同代表)  
松田浩二(ひらかた「君が代」訴訟=スミぬり裁判をすすめる会・平和都市ひらかたを考える市民の会)  
松田卓也(ASIAN SPARK)  
村田桂子(寒川ピースネット会員)  
森口 貢(長崎の証言の会、核兵器廃絶ナガサキ市民会議事務局)  
森 茂康(九州大学名誉教授)  
森瀧春子(核兵器廃絶をめざすヒロシマの会・共同代表)  
山崎久隆(劣化ウラン研究会代表)  
山田和尚(グローバル・ピース・キャンペーン日本事務局)  
横原由紀夫(有事立法はイケン(違憲)!広島県市民連絡会共同代表)  
吉岡祈子  
吉田正弘(アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局)

期 間 2003年9月から11月までの3ヶ月  
一 口 1000円 (複数口のカンパも歓迎します)  
振り込み口座番号 00950-5-264696

口座名 UMRCイラクウラン被害調査カンパ事務局

「アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局」が、このキャンペーンの事務を引き受けています。カンパ運動の状況報告や今後参加される共同呼びかけ人の発表、新しい情報の提供などは「署名事務局」のホームページで行います。

<http://www.jca.apc.org/stopUSwar/UMRC/umrc.htm>をご覧ください。

UMRCのWEBサイトはこちらです。 <http://www.UMRC.net>